

定例教育委員会会議録

(令和5年5月11日開催)

岡谷市教育委員会

定例教育委員会【議事録】

日 時 令和5年5月11日(木)
9時30分～

場 所 岡谷市役所2階202会議室
署名委員 小平委員、藤森委員

【次 第】

○開 会

○教育長あいさつ

○教育委員会報告

○議 題

- 1 学校評議員の承認について【資料1】(非公開) (教育総務課)
- 2 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について【資料2】(非公開) (教育総務課)
- 3 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について【資料3】(非公開) (教育総務課)
- 4 学校部活動の地域移行について【資料4】 (教育総務課)

○報 告

- 1 第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について【資料5】 (教育総務課)
- 2 岡谷市スポーツ施設指定管理者の再選定について【資料6】 (スポーツ振興課)
- 3 市指定文化財の指定解除について【資料7】 (生涯学習課)
- 4 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について【資料8】 (各課)

○そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

【次回開催予定】6月5日(月)9時30分～ 岡谷市役所2階 202会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎

事務局(説明員)

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、
生涯学習課長 伊藤 恵、スポーツ振興課長 小松 隆広、市史編さん準備室長 小池 秀昭
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 壘、
子ども総合相談センター主幹 長谷川 智康、市史編さん準備室専門職員 小林 博
川岸学園設立準備室川岸学園設立準備主幹 新村 尚志、教育総務課主任 大島 俊輔

<会議録>

○開会

岩本教育長： それでは5月定例教育委員会を始めます。
本日の署名委員でございますが、小平委員、藤森委員にお願いをしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○教育長あいさつ

岩本教育長： まちの木々が新緑に色づき、爽やかな季節となりました。
今年は4年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークを迎え、天候にも恵まれて、各地に人の出入りがあり、賑わいが戻ってまいりました。その一方で、霧ヶ峰高原での山火事の発生や、石川県能登地方では震度6強の地震により、大きな被害が発生しています。
また、連休最後の5月8日の未明にかけては、大雨により、川岸地区の一部に「避難指示」が発令され、川岸公民館に避難所を開設したほか、川岸小学校と岡谷西部中学校は登校を1時間遅らせ、安全を確保しました。
災害は、いつどこで起こるかわかりませんので、改めて日々の備えを確認するとともに、子どもたちの命を守る防災に努めてまいりたいと考えています。
また、新型コロナウイルス感染症については、5月8日から感染症法上の位置づけが5類に引き下げられました。学校もアフターコロナの新たなステージを迎え、活気ある学校運営に努めてまいります。教育委員会の報告につきましては、教育部長より報告させていただきます。

○教育委員会報告

白上教育部長： 最初に、教育総務課関係から報告させていただきます。
4月中旬から下旬にかけて、市内の4中学校で修学旅行が実施されました。いずれの中学校も奈良・京都方面への2泊3日の旅行ということで、実に4年ぶりにコロナ前の形に戻ったこととなります。学校からは事故もなく、楽しく充実した旅行ができたとの報告をいただいております。
また、教育委員さんを中心にして、保護者同士の人間関係づくりを目的に取り組んでいただいている「なかよしプログラム」も、この3年間は実施できませんでしたが、4月21日の神明小を皮切りに再開することができました。授業参観後の懇談会の時間に、1、2年生の保護者60名ほどが参加し、簡単なゲームや自己紹介などをする中で、マスクを外す時間もつくることもでき、保護者の皆さんの笑顔があふれる時間となったとお聞きしています。教育委員さんも5名全員参加していただき、誠にありがとうございました。後ほど、感想をお聞かせいただければと思います。

白上教育部長：

つづきまして、生涯学習課関係の報告をさせていただきます。

まず、4月29日土曜日に塩嶺野外活動センターにおいて行われた、リーダーズ倶楽部の活動についてであります。

リーダーズ倶楽部は、平成12年4月に発足して以来、「子どもは子どもの中で育つ」の理念の下、互いに成長し合い、自らの資質向上を図ることで、地域のリーダーとして活躍することを目的に中・高校生の有志で活動しております。当日は、部員13人中6人が参加し、「任命式」「奉仕活動」のほか、OB・OGのサポートを受けながら、「危険予知トレーニング」や「火付け研修」「レクレーション研修」などを行いました。

コロナ禍により活動が制限されておりましたが、今後の活躍が期待されるところであります。

次に、同じく29日に開催された「シルクフェア」についてであります。

旧林家住宅では、ヴィオラとピアノによるコンサートと、岡谷市吉祥会の皆さんによる呈茶のサービスが行われました。212人という、大変多くの皆様にご来館いただき、岡谷市の歴史と文化に触れながら、穏やかで楽しい時間を過ごしていただけたものと思います。今後も、市の文化財の素晴らしさを多くの方に知ってもらえるような催しを企画するなど、活用に努めてまいりたいと考えております。

最後にスポーツ振興課関連を報告させていただきます。

初めに、「第32回長野県市町村対抗駅伝競走大会 並びに第18回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会」が、4月29日に松本市で開催されました。

今年は、松本平広域公園 陸上競技場の改修工事に伴いコースが変更となり、やまびこドーム前を発着点として、岡谷市の代表選手が、故郷の誇りを胸に襷をつなぎました。今大会の結果は、47市町村が参加した「一般の部」は31位（昨年21位）、57市町村が参加した「小学生の部」は、21位（昨年6位）と健闘しました。

強風が吹く厳しいコンディションでありましたが、最後まで粘りの走りを見せていただきました。来年も、選手の皆さんの活躍を期待しております。

次に、大規模改修工事を終えた岡谷市民水泳プールが、5月3日にリニューアルオープンいたしました。

利用開始に先立ち行われたオープニングセレモニーでは、安全祈願を行った後、小中学生6人が泳ぎ初めをして、新たなスタートを切りました。無料開放とした初日は、親子連れを中心に約260人の方にご来場いただき、水に親しんだり、気持ち良さそうに泳ぐ姿が見られました。

これからも、多くのみなさんにご利用いただけるよう、さらなるPRに努め、安全対策を徹底しながら、健康づくりや触れ合いの場と

白上教育部長： して、また、競技力向上につながるプールとして、大切にしていきたいと思います。

教育委員会からの報告は以上であります。

岩本教育長： 今回の報告でもありましたが、林委員は初めての「なかよしプログラム」でしたので、ご感想をいただけますでしょうか

林委員： コロナ明けの最初の「なかよしプログラム」ということで、初めて参加をさせていただきました。親御さんたちが仲良くなるきっかけにもなり、とても有意義な活動だと思います。他の学校でも広く取り組んでいただきたいと思います。

藤森委員： コロナの影響で久しぶりの参加ではありましたが、3年のブランクも感じさせることない、素晴らしい対応でした。要望を強いて言うならば、もう少し時間があれば、より活動を深められるとも思いました。

太田委員： 「なかよしプログラム」の前後で、場の雰囲気が良くなったと感じることができました。直接お話を聞いてみると、予想以上にコロナの影響でお互いのことを知る機会がなかったという事でした。この活動を再開する意義はあるということを感じました。

小平委員： 久しぶりの参加でしたが、安心して参加することができました。参加者の方も非常に進め方が慣れていて、しっかりと仕切ってくださいました。また、岡谷市の取り組みやサポートについても、お話できる機会がありましたので、いいタイミングでお話ができたと感じます。

高木委員： 当日は7名の方が集まってくださり、地域の方中心で進めていただきました。とても上手に進行してくださりました。とても良い「なかよしプログラム」のスタートになったと思います。

地域の皆さんとのつながりを大事にして、このプログラムを行っていったら良いと思いました。

岩本教育長： 感想を聞かせていただいて私も大変ありがたく、また嬉しく思っているところであります。

「なかよしプログラム」は本当に保護者の皆さんの親しくなる、良いきっかけになるプログラムだと改めて思っております。今後も改善点等を加えながら、力を合わせて進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは議事に入りたいと思います。

本日の議事については、議題1「学校評議員の承認について」、議題2「岡谷市就学支援委員会の委員の承認について」、議題3「岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について」は人事に関する議題となりますので、非公開とさせていただきます、後ほどお願いしたいと思います。

それでは、議題4「学校部活動の地域移行について」、事務局より説明をお願いします。

○議 題 (公 開)

4. 学校部活動の地域移行について

<資料3に基づき、事務局より説明>

- 太田委員：** 資料 No.4 「中学校部活動の状況について」です。少子化で子どもの数が減っていることに伴い、部活動加入者数が減ってきている事は分かりますが、加入率の推移についても教えてください。
- 事務局（西山）：** 平成27年は73.7%、令和4年が73%です。
- 太田委員：** 加入率自体はあまり変わっていないのですね。
もう一点、合同チームがすでにいくつか存在しているとの事ですが、生徒や保護者、学校の先生からのメリットやデメリットに関する意見はありますか。
- 事務局（西山）：** 合同チームにつきましては、今回のアンケートに設問を設ける予定です。そもそも合同チームとは、学校同士で調整をしてチームを結成しているチームになります。メリットとしましては、少子化の中でも人数の確保ができることによって、部活動の実施や、大会出場が可能になる点が挙げられます。
デメリットにつきましては、部活動の実施会場が生徒の所属している学校以外になることもあり、移動面で保護者に負担があるといったことが挙げられます。
- 高木委員：** アンケートを実施とありますが、このアンケートは岡谷市独自のアンケートなのでしょうか。内容に関しても、国や県の方針を参考に内容を作っていくものなのでしょうか。
地域クラブにつきましてもお聞きしたいのですが、平日の地域クラブの活動時間は主に夜間でしょうか。学校が開いている時間と重なっているのかをお聞きしたいです。
- 事務局（西山）：** アンケートにつきまして、12月に国が策定したガイドラインの中でも、地域移行を進めるにあたってはアンケート等を通じて、生徒のニーズ把握をするように書かれております。ただし、アンケートの様式については国の定めが無いため、他市町村のアンケートを参考にしつつ、校長先生にもご確認いただき、アンケートを作成する予定です。
平日の地域クラブにつきましては、日中は学校がありますので、夜間に行われるところがほとんどです。
- 事務局（両角）：** 岡谷市でも、中学校の部活動のあり方の方針を平成31年に策定しております。平日は朝練も含めて2時間の活動を目安に運用しております。
それ以外の地域の部活動にも、いろんなパターンがありまして、民間のクラブ活動を市ですべて把握できているわけではなく、本人の希望により所属しているクラブ活動には、夜間のクラブもあるかと思われま
す。ただし従来からある社会体育活動は、任意の生徒でチームを作り、中学校の先生が加わるという形態もございますが、延長の部活動は認め

事務局（両角）： ないルールを市は持っております。学校部活動をやった後に地域のクラブ活動を行うことはないようにルールを設けておりますが、夜間の地域の活動自体は自由であります。

藤森委員： 国のガイドラインの趣旨ですが、「教育的意義を継承・発展させ新しい価値が創出されるようにすることが重要」とあります。少子化や先生の働き方改革等の様々な問題がある中で、部活動の地域移行は自然な流れだと思えます。

ただし部活動は教育活動の一環であり、学校関係者でない方が指導者になることや、クラブの運営に携わることもあり得るため、学校の部活動で行っていた教育的部活動の意義とのギャップが生じることが懸念されます。本来の趣旨である、部活動は教育活動という意義から外れないようにするために、岡谷市ではどのようなことを考えていらっしゃるのか教えていただきたいです。

事務局（両角）： 国から示されたガイドラインをベースする中で、県もスチューデント・ファーストを掲げておりますので、市の指針でもそのように位置付けをして、それに則って活動をしてくださる方をお願いをしていく流れになります。

まずは受け手の皆さんが確保できるのかという所からになりますが、既存の活動団体で、国や市の考え方を受けていただける団体が対象になります。

なお、中体連の大会規定の中の参加条件として、ガイドラインの趣旨に該当する団体と示されております。

藤森委員： 部活動の教育活動としての意義を外さずに地域の皆さんと移行していくことが大切だと思いますので、よろしく願いいたします。

合同チームにつきまして、市外の学校との連携の例が上がっていますが、諏訪の6市町村での連携もますます必要になってくると思います。例えば校長会等でも話は挙がっているのでしょうか。

事務局（両角）： 全県の教育長が集まる会議でも情報共有はされております。

市外との連携についても課題になりますが、県もこの課題について検討中であり、より広域的な議論の必要性が出てくると思われれます。

岩本教育長： 具体的には、諏訪の校長会に中体連担当の校長がいます。その校長を中心に市町村を越えた学校との合同チームのあり方や課題を洗い出して検討を進めております。

市外に行く場合、交通手段や交通費についてなどの課題があります。国や県の補助の活用も視野に入れながら進めてまいります。

林委員： 地域クラブという言葉の定義があれば教えてください。民間の習い事等もあるので難しいとは思いますが、現在どのような枠組みで地域クラブと位置付けているかを教えてください。また、岡谷市内の運動系と文化系の地域クラブ数についてもお願いします。

事務局(両角)： 地域クラブという言葉の明確な定義ですが、習字や英語など様々な活動があり定義が難しいです。明確に言えるのは、中学の部活動とそれ以外の社会体育活動の2つのみです。社会体育活動については民間の事業者さんが実施しているケースもありますし、学校の先生が携わっているケースもあります。

林委員： これからは子どもたちの多様性についても今まで以上に尊重をする必要があると思います。運動系についてはそれぞれのニーズもあると思いますが、文化系について例えば、習字やお花、お茶があるかと思います。それらをやりたいと思う子どもが出てきたときに、情報を共有して、やりたい文化活動が無かったとしても他の文化活動へ紐付けができるような、例えば太鼓もできる、と情報共有ができるような体制にしていただければ良いと思います。

事務局(両角)： まずはニーズの把握です。やりたい活動があってもできない子どもの意見を聞いて、つなげていくことが大切です。受け手の存在や、学校の教育活動との関係もあります。地域の経済活動に及んでしまう要素がありますので、難しさはありますが部活動として新しい器ができるという事であれば、それは良いことだと思います。

林委員： 子どもたちが現実的に参加できるような、検討を深めていただければと思います。

小平委員： スポーツ系については、中体連にも地域クラブが参加できるとの事なので対策が進んでいると感じました。

合同チームに所属している生徒が遠くまで通っているとのことで、国の方針にも書かれていますが、地域による格差を何とかしていかなければならないと思います。

文化系につきましても、まずは地域にどのような習い事があるか把握をする必要があると思います。例えば太鼓やお花、書道等あります。例えばですが、それらの文化活動を一括りに「文化体験クラブ」として実施もできるのではないかと思います。そういった需要があるか、アンケートで確認をできれば良いと思いました。また、現在どのような文化系の地域活動があるか調べていただきたいです。

現在の部活動で美術部について、人数が多いようですが、私の子どもが中学校に通っていた時は、美術部ではなく創作部と呼んでいたのですが、具体的な活動内容を教えていただきたいです。

事務局(両角)： 詳細な活動内容につきましては把握できておりませんが、顧問の先生がいるということで、他の部活動の基準は一緒です。

小平委員： 全員が活動をしているということでもよろしいでしょうか。

事務局(両角)： すべての生徒がどのような活動を行っているかは、把握できていないところではあります。

小平委員： 活動状況についてもこれから把握していく段階かと思います。美術に関しましては、全員が集まって集団で行う部活動というよりは、各自で活動を深めていく時間が多く、運動部とは活動方法も異なると思います。

- 小平委員：** 合唱や吹奏楽には団体戦のような側面もあり、スポーツに少し近い印象もありますが、創作系に関しては特別な場が必要だと思います。
創作活動に使える場所や道具があるということも大切だと思います。岡谷市内にもそういった文化的な場所はあると思います。
他にも小学校で実施されているプログラミング教室に、岡谷工業高校の学生が手伝いに来てくださいますが素晴らしいと思います。まだ思い付きの段階ですが、何かつながりが生まれれば良いと思います。
- 岩本教育長：** 美術部の活動がよく分かるのは、やはり文化祭です。美術部のコーナーを見てみると、制作した作品が展示されていて、岡谷市内ではどこの中学校も美術部が非常に頑張っているといつも思っております。
運動部と同じように、それぞれの個性や特徴に合わせて部活動をしている事は、とても良いことだと思っております。
アンケートについてもご意見や要望がございましたら是非お願いします。
- 高木委員：** 国の方針で、休日の部活動を地域に移行していくということですが、部活動のあり方についても見直していく、良い機会だと思います。今の部活動をそのまま地域に移行するのではなく、どうすれば子どもたちにとって望ましい活動になるか。今後の方向性を決めるにあたって、必要な意見が上手に聞けるようなアンケートであってほしいと思います。
- 藤森委員：** 今日いただいている資料には、具体的な設問はないということでしょうか。
- 事務局（両角）：** 現在校長会に提案をして、先生の意見を聞いていただいているところですので、整ったところで委員の皆さんには配布をさせていただきます。
- 藤森委員** ニーズの把握の部分で、小学校5、6年生にどのような活動を望んでいるか、盛り込んでいただきたいです。
- 小平委員：** もちろんアンケートに含まれるとは思いますが、やりたい部活動がない生徒はどのような部活動を希望しているのか。習い事の有無や、習い事でやっている活動が学校の部活動にあった方が良いのかそうでないのかを分かるようにしていただきたいです。
- 太田委員：** 中学校1、2年生に対しては、部活動に所属している方は、本気で入りたくて、それを選んでいいのか、それとも皆が入るから所属しているのか。そこをお聞きいただきたいです。もし、仕方なく所属しているという生徒がいれば、どのような部活動を望んでいるのかをアンケートに入れていただきたいです。
- 岩本教育長：** 部活動とクラブ活動がございます。クラブの時間では子どもたちの要望をできる限り聞いてクラブを作っています。部活動とクラブ活動の言葉の曖昧さもあるため、子どもは戸惑いがあるかもしれないと危惧しておりますが、まずはアンケートを作成、実施をしてまいりたいと思います。岡谷市の現状を踏まえた岡谷市ならではの地域移行を考えていきますので、また意見を頂戴したいと思います。

それでは議題4は終了といたします。続いて報告事項に入ります。
報告事項1「第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について」、事務局より説明をお願いします。

○報 告

1. 第4次岡谷市通学路交通安全プログラムの実績について

<資料5に基づき、事務局より説明>

岩本教育長： 予算にも限りはありますが、少しずつでも実施できるように計画をしております。

それでは続きまして報告事項2「岡谷市スポーツ施設指定管理者の再選定について」、事務局よりお願いします。

2. 岡谷市スポーツ施設指定管理者の再選定について

<資料6に基づき、事務局より説明>

岩本教育長： ただ今の説明にあったスケジュールに沿って実施をまいりますので、よろしく願いいたします。

それでは報告事項3「市指定文化財の指定解除について」、事務局よりお願いします。

3. 市指定文化財の指定解除について

<資料7に基づき、事務局より説明>

岩本教育長： 全国でも倒木による被害がございます。今回の樹木も含めまして、樹木の点検をしているところでもあります。樹木医から点検方法についてご意見をいただいておりますので、早めの対応をまいります。

続いて報告事項4「岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について」、事務局からお願いします。

4. 岡谷市議会3月定例会一般質問要旨について

<資料8に基づき、事務局より説明>

岩本教育長： 以上で報告事項を終了いたします。続いて、「行事等について」、事務局からお願いいたします。

○ その他

<各課より行事予定について説明>

岩本教育長： それでは次回の開催予定について事務局からお願いします。

事務局(両角)： 次回は6月5日(月)9:30から、会場は202会議室で予定をしています。

岩本教育長： ここからは非公開の議事となりますので、報道記者の皆さんはご退席をお願いいたします。

○議 題 (非公開)

1 学校評議員の承認について (教育総務課)

<事務局から 学校評議員の承認 について説明し、承認される>

2 岡谷市就学支援委員会の委員の承認について (教育総務課)

<事務局より 岡谷市就学支援委員会の委員の承認 について説明し、承認される>

3 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認について(教育総務課)

<事務局より 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会の委員の承認 について説明し、承認される>

岩本教育長： それでは、以上で本日の議事等終了いたしました。ありがとうございました。

11時50分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和5年5月11日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

藤森一俊

署 名 委 員

小平陽子

調 製 職 員

白上淳